

岩手・宮城内陸地震に関わる緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣について

平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した河道閉塞(天然ダム)の災害復旧作業を応援するため、本省からのTEC-FORCE派遣指揮に基づき、中国地方整備局保有の排水ポンプ車(高揚程対応型)1台を東北地方整備局へ応急対策班として派遣した。

■TEC-FORCE(応急対策班)の派遣

1. 派遣内容: 応急対策班(排水ポンプ車)
排水ポンプ車 1台 10ton級
(排水能力30m³/min 高揚程対応型10~20m)
[浜田河川国道事務所配備]
2. 派遣体制: 中国地整職員 1名、機械運転者(委託) 2名
3. 派遣先: 東北地方整備局 鳴瀬川総合開発調査事務所
(宮城県大崎市古川)
4. 派遣期間: 平成20年6月19日(木)~

■中国地方整備局の対応

日時	項目	内容
6月14日	9:20 応援連絡室設置	岩手・宮城内陸地震の発生に伴い応援連絡室を設置。
6月19日	12:08 TEC-FORCE 派遣指揮	本省より浜田河川国道事務所の排水ポンプ車(高揚程対応型)1台を、東北地整 鳴瀬川総合開発調査事務所に派遣指揮。
	14:45 応援対策本部の設置	「中国地方整備局 応援対策本部」の設置
	14:45 排水ポンプ車の派遣指揮	浜田河川国道事務所長に対して、排水ポンプ車(高揚程対応型)1台を、東北地整 鳴瀬川総合開発調査事務所に派遣指揮。
	14:45 TEC-FORCE 隊員の派遣命令	職員1名を応援対策班(排水ポンプ車)班長として派遣
	17:10 排水ポンプ車出動	排水ポンプ車出動
6月20日	13:10 排水ポンプ車引渡し	現地に到着し、東北地整へ引渡し完了
6月25日	12:00 排水ポンプ活動開始	宮城県栗原市浅布地区 河道閉塞(天然ダム)箇所において排水作業開始

■排水ポンプ車の出発式及び現地到着状況



■現地での稼働状況(東北地整より提供) [6月25日現在]



■派遣を伝える報道記事

中国新聞: 平成20年6月20日

岩手・宮城地震現場
整備局が対策員派遣

中国地方整備局は十九日、岩手・宮城内陸地震で被災した宮城県大崎市へ緊急災害対策派遣隊「テックフォース」の隊員一人と排水ポンプ車一台を派遣した。今月六日の発足後、被災地への出動は初めて。河川を土砂がせき止めた「土砂ダム」の排水作業などに当たる。

山陰中央新報: 平成20年6月20日

浜田河川事務所の排水ポンプ車派遣
岩手・宮城内陸地震の復旧作業に参加するため十九日、浜田市相生町の国土交通省浜田河川国道事務所から、排水ポンプ車一台(応急対策班三人)が現地向け出発した。地震で川の流れがせき止められ、水がたまった場所の排水を担当する。同事務所に配備されている排水ポンプ車は、十センチの落差があっても排水できる高性能を有しており、全国の国土交通事務所に三台しかない。二十日昼に宮城県大崎市に到着し作業を始める。